

**2020年1月期 11月度 月次業績動向(連結)(2019年10月21日～2019年11月20日)**
**会社名** ピーブル株式会社

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐淵真人

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

**(連結業績)**

科目	月次対比			《期初からの累積対比》			《過去12ヶ月累積期間の対比》		
	2019年1月期 11月度	2020年1月期 11月度	前年 同月比	18/1/21～ 18/11/20	2019/1/21～ 2019/11/20	前年 同期間比	17/11/21～ 18/11/20	2018/11/21～ 2019/11/20	前年 同期間比
注1.) 売上高	585,454	<b>386,753</b>	66.1%	3,467,506	<b>3,175,459</b>	91.6%	4,205,830	<b>3,854,039</b>	91.6%
営業利益	155,175	<b>69,888</b>	45.0%	377,681	<b>302,928</b>	80.2%	470,602	<b>344,834</b>	73.3%
経常利益	165,189	<b>77,557</b>	47.0%	379,229	<b>304,948</b>	80.4%	452,075	<b>326,805</b>	72.3%
税引前利益	165,189	<b>77,557</b>	47.0%	379,229	<b>304,948</b>	80.4%	493,605	<b>326,805</b>	66.2%

注2.) 流動資産	2,432,745	<b>2,054,031</b>	84.4%
固定資産	200,129	<b>318,453</b>	159.1%
流動負債	538,789	<b>297,064</b>	55.1%
固定負債	-	-	-
純資産	2,094,084	<b>2,075,419</b>	99.1%
総資産	2,632,874	<b>2,372,484</b>	90.1%

注1) 当期より損益実績につきましては、月次業績においても前期・当期ともに連結金額にて記載しております。

注2) 貸借対照表実績数値につきましては、親会社単体の当月末日時点の実績値を記載しております。連結貸借対照表は、毎四半期決算時に記載させていただきます。

**商品別売上高**

商品カテゴリー名	月次対比(連結)			《期初からの累積対比》			《過去12ヶ月累積期間の対比》		
	2019年1月期 11月度	2020年1月期 11月度	当期間 構成比	18/1/21～ 18/11/20	2019/1/21～ 2019/11/20	当期間 構成比	17/11/21～ 18/11/20	2018/11/21～ 2019/11/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	169,429	<b>143,396</b>	37.1%	1,101,714	<b>1,040,628</b>	31.8%	1,419,693	<b>1,301,156</b>	33.8%
女兒玩具	95,026	<b>60,798</b>	15.7%	371,959	<b>279,045</b>	10.7%	490,973	<b>374,626</b>	9.7%
遊具・乗り物	57,776	<b>37,486</b>	9.7%	415,236	<b>431,345</b>	12.0%	483,523	<b>494,947</b>	12.8%
海外販売、その他	263,223	<b>145,074</b>	37.5%	1,578,597	<b>1,424,441</b>	45.5%	1,811,642	<b>1,683,310</b>	43.7%
合計	585,454	<b>386,753</b>	100.0%	3,467,506	<b>3,175,459</b>	100.0%	4,205,830	<b>3,854,039</b>	100.0%

**11月度新発売およびリニューアル商品**

当月はありません。

当11月度では、国内外ともに大手取引先の出荷調整の影響を受け、総売上高は3億87百万円 前年同月比33.9%減、期初からの累積総売上高は前年同期間比8.4%減となりました。

国内販売では、クリスマス商戦に向けての流通各社の積み込み出荷が前月10月度から始まり当月度に入って本格化していくべきところが、玩具業界全体の市況は依然として厳しく、玩具カテゴリーにおいて弊社定番商品に対する出荷依頼にも、当該影響を受けています。

一方、自転車カテゴリーにおいては厳しい市況の中でも、「ケッターサイクル」各種(オープン価格)のコンスタントな注文があったことに加えて、クリスマス商戦向け大手法人へのまとまった出荷が重なったことから、前年同月度を大きく超えた出荷となりました。

海外販売では米国向け「Magna-Tiles」について、まとまった出荷があった前年同月度に対して、当月度は8月度より引き続き出荷調整を受けていることが大きく影響しております。